

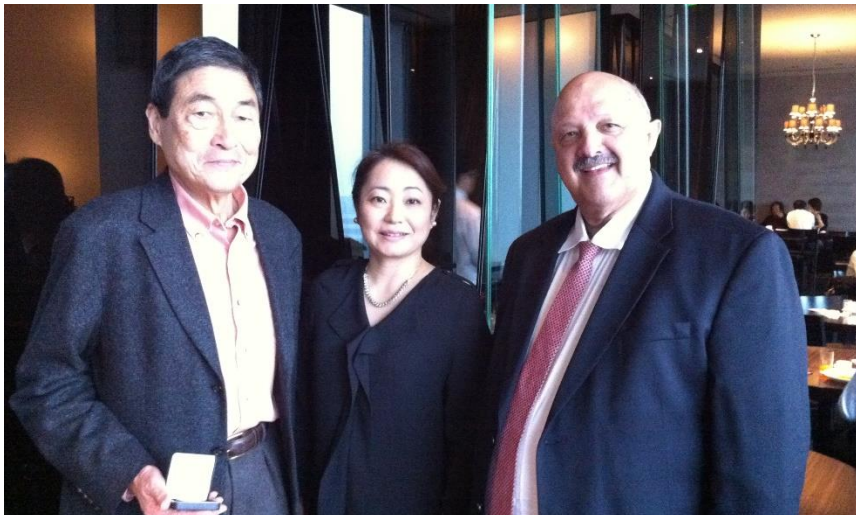


2015.12.10 我喜屋まり子氏、Dr. Reyes Tamez と朝食会

我喜屋まり子氏は、米ハーバード大学教育学大学院で博士号 (administration, planning and social policy) を取得。同大学の Learning Innovations Laboratory のメンバーとして、グーグル、シスコ、国連および世界銀行等に、リーダーシップ開発と組織戦略の分野における研究とアドバイザーサービスに従事している。今回はハーバード大学の研究所で研究仲間の Dr. Reyes Tamez と来日。同博士は元メキシコ文部大臣 Minister of Education of Mexico (2000年-2006年)。

Dr. Reyes Tamez は、ユネスコが主導するアジア・パシフィック地域での各国、各世代が一同に会するシンポジウム開催について、日本の関係者と意見交換するため来日。

教育と人の移動(migration)に関する研究でも一家言をもち、この面で未来を創る財団の活動とも接点がある。種々意見交換の結果、未来を創る財団のニューズレターへの寄稿をお願いした。



メキシコを代表する芸術家ディエゴ・リベラの功績から、音楽や日本より一足早くユネスコ無形文化遺産の指定を受けたメキシコの食文化まで、広範な話題を提供いただいた。事務局長(麻植)が手にするのは、当財団にいただいたメキシコ独立の記念をかたどった99.9%の純銀記念メダル。